

ひがしどおり

No. 2 2

議会だより



日本原燃(株)再処理工場視察見学

主な内容

- ◆ 9月定例会……………2～3P
- ◆ 一般質問……………4～5P
- ◆ 全員協議会・委員会……………5～6P
- ◆ 視察研修等……………7P
- ◆ 議会の動き……………8P

平成19年10月31日

発行 東通村議会

編集 総務企画常任委員会

第三回定例会 開かれる

平成十九年東通村議会第三回定例会が九月四日から十二日までの九日間の会期日程で開かれました。

定例会には村長より、人事案件三件、報告案件一件、条例案件一件、決算認定案件二件、補正予算案件四件、契約案件一件、その他の案件二件、合計十四案件、議会から陳情一件、議員発議一件が提出され、全日程、全議案が原案どおり可決されました。

十五日は、決算認定案件二件、補正予算案件四件、契約案件一件、その他の案件二件を審議し、陳情一件について所管の委員会報告後議事日程を追加し、議員発議一件を審議して閉会しました。



◎ 人事案件

○東通村教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて

現委員の大津真吉氏は、九月三十日をもって任期満了となりますが、引き続きその任に当たって頂くため再任となりました。

○東通村固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることについて

現委員の小笠原剛太郎氏は、十一月八日をもって任期満了となりますが、引き続きその任に当たって頂くため再任となりました。

○人権擁護委員候補者の推薦について

定数の増員に伴い、新たな委員として、大沢光弘氏が推薦となりました。

◎ 報告案件

○平成十八年度東通村下水道事業特別会計継続精算報告
平成十七年度から継続予算

で進めてまいりました、東通村特定環境保全公共下水道事業が完了し、支出額が確定しましたので、法の規定により報告するものです。

◎ 条例案件

○郵政民営化法等の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

関係法律の改正等に伴い、「郵便貯金」「日本郵政公社」等字句の整理を行うため、改正するものです。



◎ 決算認定案件

○平成十八年度東通村一般会計・国民健康保険特別会計・老人保健特別会計・介護保険特別会計・下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

一般会計は、歳入総額、百十四億九千二百八十五萬五千七百二円、歳出総額、百十三億九千九百八十五萬九千二百四十七円、差引九千二百九十九萬六千四百五十五円となり、翌年度へ繰越すべき財源一千四百六十六萬二百円を差引くと、八千五百五十三萬六千二百五十五円の剰余金を生じています。





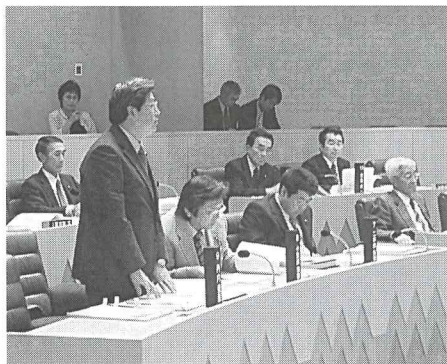
国民健康保険特別会計は、歳入総額、十億三千六十四萬三千六百五十九円、歳出総額は、九億九千四百七十三萬三千五百円で、翌年度へ繰越すべき財源六百十一萬円を差引くと、三千三百四十八萬六千三百二十四円の剰余金、老人保健特別会計は、歳入歳出とも総額、六億八千七百四十萬六千八百一十一円、介護保険特別会計は、歳入総額、五億四千三百八十八萬二千三百四十七円、歳出総額五億四千三百一十五萬三千六百一十一円で、翌年度へ繰越すべき財源八十四萬八千円を差引くと、一萬八千九百八十六円の剰余金、下水道事業特別会計は、歳入歳出とも総額、七億一千六百十四萬一千九百円となりました。

○平成十八年度東通村水道事業会計決算の認定について
収益的収入は、税抜きで四億二千六百六十五萬三千四百四十円、収益的支出は、四億一千六百二萬一千六百十円で五百六十三萬一千八百円の純利益を生じております。
資本的収入は、税込みで三千五百六十四千円、資本的支出は、一億九千四百四十八萬二千二百七円で、不足額の一億六千九百一十一萬八千二百七十七円は、当年度分消費税資本的収支調整額七萬九千三百六十六円及び過年度分損益勘定留保資金百五十七萬七千九百二円、建設改良積立金取り崩し額百五十萬円と当年度分損益勘定留保資金一億五千七百七十六萬九百九十九円で補填対応しています。

◎補正予算案件

○平成十九年度東通村一般会計補正予算(第二号)

当初予算編成時に不確定であった事務事業等について補正するものであり、既定額に四千八百三十四萬七千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ百十三億三千二百六十六萬九千円とするものです。



○平成十九年度東通村国民健康保険特別会計補正予算(第一号)
平成十八年度分療養給付費等交付金の確定により償還が生じたため、既定の歳入歳出予算の総額に四十一萬五千元を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ一億五百九十一萬五千元とするものです。
○平成十九年度東通村介護保険特別会計補正予算(第一号)
平成十八年度分の介護給付費、地域支援事業の確定により国・県及び社会保険診療報酬支払基金への償還が生じたため、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ一千二百二萬円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ五億九千二百二萬円とするものです。

◎契約案件

○物品の購入について

消防用小型動力ポンプ付積載車購入事業であります。積載車購入年度が十五年以上の、老朽化した小型動力ポンプ付積載車を更新するものであり、今年度は鹿橋地区に配備する予定です。事務手続きが整いましたので、去る八月二十七日に指名競争入札に付したところ、九百八十七萬円をもって、有限会社丸栄消機に落札しましたので、本契約を締結するためのものです。

◎その他の案件

○東通村土地開発公社定款の一部を改正する定款

◎議員提出案件

○一部事務組合下北医療センター規約の変更について
議会議員について、むつ市議会議員から選挙する人数を十三人とするため、地方自治法の改正により吏員制度が廃止されることなどに伴い条文整理するため、施設の設置費等の負担について条例により定めるため、及び規約を縦書きから左横書きに改めるため、規約の変更について協議がありましたので、提案するものです。

◎陳情書

○陳情第五号 教育予算の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
【採択】

◎議員提出案件

* 登壇第八号 教育予算の拡充に関する意見書
以上一意見書は、内閣総理大臣はじめ関係大臣に提出。

一般質問

9月11日の本会議において、2人の議員が一般質問を行いました。
主な質問内容を紹介します。

【質問者】 二本柳 英 雄 議員
川 村 隆 議員



二本柳英雄議員

国道三三八号線小田野沢バイパス左右上水道、下水道管の埋設工事早期着工について

【質問】

国道三三八号線小田野沢バイパスへの上水道、下水道管の埋設を一日も早く。

【答弁者・村長】

国道三三八号線小田野沢バイパス左右上水道下水道管の埋設工事早期着工についてですが、先ず上水道給水能力は原子力発電所建設工事等を見込み、一万二千百人を想定した規模で、平成十六年度に第一次上水道拡張工事を完了しております。

小田野沢バイパスの上下水道管敷設計画については、現在、歩道が完成している反対側、歩道未舗装側に計画して

おり、道路工事実施時、国道管理者である青森県と村の合意がされておりますので、特に実施に向け支障はないものと思われるところであります。小田野沢バイパスの上下水道管計画延長は約三キロメートルですが、上水道工事に約一億五千万円、下水道工事に二億五千万円、合計で約四億円の予算概算となり、収益は一日一人約四百リットル使用で千人、三年間の宿舍等の住込みですと約一億四千七百万円の計上となり、差引き二億六千万円の赤字となる積算となります。

今後、一般住宅建設がバイパス沿線に張り付いてくることとが予想されますが、急激に住宅が増えることはないと思われまして、これらについては、本管建設ではなく当面はその都度の口径に応じた工事に対処していきたいと考えております。

下水道については、一般住宅は今後の状況を見て対処していきますが、現況に一般住宅が張付いていないと処理区域に指定できないことから、バイパス沿線は処理区域指定の除外となっている現状であります。



【再質問】

小田野沢バイパスは将来、住宅が建築されると思いますが、また、東京電力一号機が平成二十年着工、二号機が平成二十三年度以降の着工予定です。ピーク時の宿泊、労働人口が数千人と伺っています。事業者、関連会社を考えず、村の計画又は予算で着工することをお願い致します。

【答弁者・村長】

上下水道につきましてはその時点において、しっかりと関係機関と話をしながら進めて参りたいと、そのように思っております。

東通小学校全校統合に伴う校舎増築等エリア内にある東通村商工会、東通村森林組合事務所移転等について

【質問】

エリア内にある東通村商工会、東通村森林組合の移転移設等をどのように考えているか。

【答弁者・村長】

東通村は、教育環境整備を村政の最重要課題として掲げ、総合教育プランに基いて、教育環境の充実に重点的に取組んでおります。教育委員会で中学校統合につき続き、小学校統合についても既に関係学区のPTA等を含めて、住民懇談会を平成十七年から進めており、幼小中一貫教育とともに小学校一校統合へのご理解を頂くため、現在も地域の方々との懇談会を実施しております。これまでの懇談会を通して、小学校一校統合に対しては一部に現在の小学校存続を希望する意見はあるものの、全体的には受け入れの方向にあると捉えております。



東通村商工会、東通村森林組合事務所については、教育施設の配置計画に支障がないものとして計画を進めているところであります。

【再質問】

現在は小学校増築等のエリア内に入らないとの答弁ですが、将来においてもエリア内に入らないものか伺いたします。

【答弁者・村長】

教育エリアにつきましては、現段階においては支障のない計画を致しておりますので、これはまた将来的に亘って、その状況がどう変わっていくのか、その時点においてやはり将来構想の中で、その時点で考えていかなければならぬのではないかと、そのように思っております。



川村隆議員

生活関連道路整備について

【質問】

蒲野沢の中央道路から旧学校までの道路及び石蔵から一里小屋間の未舗装道路の整備について

【答弁者・村長】

最初に、蒲野沢地区の生活関連道路の整備についてであります。昭和六十三年の役場庁舎移転に伴い、各集落から役場庁舎まで約三十分以内で結ぶことを目標に幹線道路の整備を進め、現在は集落内の生活道路を中心とした整備側溝・舗装等の整備がなされていない地区を優先し、整備を進めていくこととしておりますが、まだ各集落内道路の未整備区間も残されており、財政事情を見極めながら緊急性に合わせ、整備することと

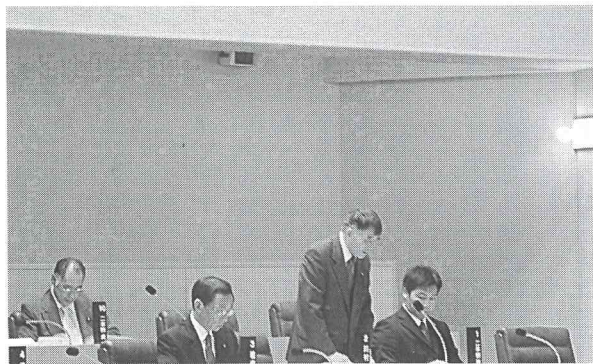
致しております。また、整備にあたっては土地所有者のご理解がなければ事業の進捗を図ることが困難であり、地元要望事業の精査も含め、対処していくことが肝要と考えているところであります。
何れにしても地域の皆様には不便をきたさないよう、側溝補修、舗装補修など維持管理に努めることと致しております。
次に、ご質問の未舗装区間の石蔵平線についてですが、平成十八年九月定例会においてもご質問にお答えしておりますが、当路線は現況道路延長約一・四キロメートル、道路幅員約三メートルの砂利道であります。整備にあつての補助事業採択は厳しい条件下にあり、拡幅における土地地権者が約二十二名、内、他管十三名、村関係者八名、一、共有など、土地購入の可能性の有無、更には同地域内における二路線の早期整備の問題等も含め、地元の要望を踏まえつつ、村の財政状況を見極めながら事業を進めていく考えであります。
また、生活環境に不便をきたさないよう道路管理に目を配りながら維持管理していくこととしております。

【要望】

部落内道路は、毎日の生活に欠かせない道路でございますので、村民の生活を第一と考え、一日も早い整備をお願いいたします。特に一里小屋線は長年の懸案でもある地域住民にとつては夢でもありますので、村長には整備に向けて努力されるようお願い申し上げます。

【答弁者・村長】

やはりしつかりとですね、用地確保を含めて検討していかねばならない。勿論、村の緊急度も勘案しながら進めていかねばならないと、そのように考えております。



全員協議会

★ 八月二十八日(火)
午後一時、村庁舎議場にて
(協議案件)

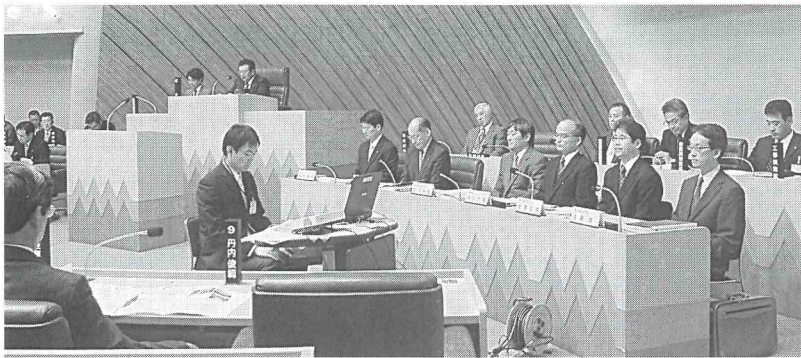
○新潟県中越沖地震について
一・柏崎・刈羽原子力発電所の状況について

二・東通原子力発電所東北電力一号機の対応について
○東通原子力発電所東北電力一号機に係る定期検査結果について

○東通原子力発電所東京電力一・二号機に係る準備工事進捗状況について

村長の挨拶に続き、東京電力東通原子力建設準備事務所、峯所長より、新潟県中越沖地震による東京電力柏崎刈羽原子力発電所への影響について及び東通原子力発電所東京電力一・二号機に係る準備工事進捗状況について、詳細な説明がなされました。

また、東北電力東通原子力発電所、渡部所長からは、新潟県中越沖地震を踏まえた東通原子力発電所の対応について及び東通原子力発電所東北電力一号機に係る定期検査結



果について、詳細な説明がなされました。
 柏崎・刈羽原子力発電所の状況については、発電所施設の視察が可能かどうか質問が出され、東京電力からは現在全てのプラントは、停止して安定した状態にあり、視察可能との回答を得、また、東京電力一・二号機に係る準備工事進捗状況については、地元雇用を強く要望し閉会となりました。



★ 八月三十日(木)
 午前十時、村庁会議場にて
 (協議案件)

○平成十八年度東通村一般会計・国民健康保険特別会計・老人保健特別会計・介護保険特別会計・下水道事業特別会計歳入歳出決算概要について
 ○平成十八年度東通村水道事業会計決算概要について
 ○平成十八年八月十日発生、防衛省技術研究本部下北試験場における連射砲跳弾発生事案の経緯と今後の対応について
 村長挨拶後、各会計の決算概要及び下北試験場における連射砲跳弾発生事案の経緯と今後の対応について収入役及び担当課長より説明がなされました。

委員会から

▼ 常任委員会

★ 教育民生常任委員会

《九月四日(火)》

午前十時三十五分開会

*「教育予算の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書」

本陳情書につきましては、昨年度から義務教育費国庫負担率が二分の一から三分の一に変更されました。

教育は未来への先行投資であり、子どもたちがどこに生まれ育ったとしても、ひとしく良質な教育が受けられる必要があります。そのため、教育予算を国全体として、しっかりと確保・充実させることが必要とのことから、採択すべきものと決しました。



▼ 特別委員会

★ 東通原発特別委員会

《八月二十日(月)》

午前十時開会

◎新潟県中越沖地震について
 一、柏崎・刈羽原子力発電所の状況について

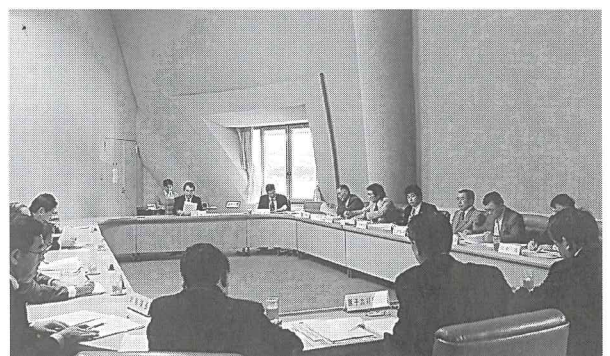
二、東通原子力発電所東北電力一・二号機の対応について

◎東通原子力発電所東京電力一・二号機に係る準備工事進捗状況について

◎東通原子力発電所東北電力一・二号機に係る定期検査結果について

去る七月十六日に発生した、新潟県中越沖地震による柏崎・刈羽原子力発電所の状況について及び東通原子力発電所東北電力一・二号機の対応についてご説明申し上げたいとのことでした。また、昨年九月に重要電源開発地点として指定された、東京電力一・二号機は、平成二十年本体着工に向け現在、準備工事が進められているとのことであり、この準備工事の進捗状況についてご説明を申し上げたいとのことでした。

次に、東通原子力発電所東北電力一・二号機は、去る六月第一



一回定期検査を終了し、営業運転が再開されその後大きなトラブルもなく、順調に運転を続けているとのことであり、併せて定期検査の結果についてご説明申し上げたいとのことでした。

村当局の詳細な説明の後、案件ごとに質疑が行われ、委員からは、原子力発電所に係る案件は全議員が周知すべき事項であるとの観点から、事業主である東北・東京両電力に出席を求め議会全員協議会開催の要望がなされました。

村当局からは、準備がととの次第、議会全員協議会の開催をお願いする旨の回答を頂き閉会いたしました。

視察研修等

《下北林活議員連盟》

去る七月十日(火)「森林・林業・林産業活性化推進下北地域市町村議員連盟」定期総会が、下北地区市町村議会議員合同研修会と併せ、むつグランドホテルで開催されました。

総会では、平成十八年度事業概要報告及び決算、収入三十二万九千四百七十六円、支出十四万五千六百二十二円を承認。平成十九年度事業計画と予算三十三万八千三百五十四円を承認して閉会しました。

総会終了後、議員合同研修会が開催され、(財)青森地域社会研究所地域振興部長、竹内慎司氏を講師に迎え、「経済のグローバル化と地域経済について」を演題として、講演が行われました。

七月十二日(木)青森県町村議会議長会主催の県下町村

議会議員研修会に参加。十三日(金)は「青森市農業指導センター」と青森県農林総合研究センター「グリーンバイオセンター」の視察見学を行いました。

《県下町村議会議員研修会》

青森市民ホールで開催された県下町村議会議員研修会は、講師に政治評論家 有馬晴海氏を迎え、「舞台裏から見た政治とこれからの政局展望」と題し講演をしていただきました。

《青森市農業指導センター》

農業指導センターは、農業経営の近代化を進めることを目的に、野菜・花卉を組み入れた栽培体系を確立するため、バイオテクノロジー等の新技術による優良種苗の生産と農業者の営農や栽培技術の指導・普及、さらには農業後継者の育成に努めています。

また、平成十三年に開設した、ふれあい農園では、広く市民に有機栽培に限定した市民農園の提供や農産物加工施設での農産加工に取組む団体を支援しています。

今回は、永澤所長さんにご説明いただきながら、場内を一時間ほどご案内していただきました。



《グリーンバイオセンター》

グリーンバイオセンターは青森県農林水産部に所属する研究機関です。

バイオテクノロジーを効果的に利用して、青森県の特産農産物である、いね、りんご、にんにく、ながいもなどの育種や病害防除に関する研究の目標を拡大するため、また、

早期達成するために、平成六年に設立されました。

青森県の専門試験研究機関(農業試験場、畑作園芸試験場、りんご試験場、フラワーセンター)と連携して、農業技術を開発します。

また「青いバラ」の研究で有名です。

今回は、佐藤研究調整監にご説明、ご案内をしていただきました。

《下北郡町村議会議長会視察研修》

八月二十一日(火)から二十三日(木)までの三日間の日程で実施された下北郡町村議会議長会主催の北海道視察研修に参加しました。二十一日の七飯町では、電源開発株式会社北本連系電力所長、色川氏から北海道本州間電力連系設備と北地域集中制御設備についてご説明とご案内をして頂きました。

二十二日は、平成十八年五月臨時会において、全国初の議会基本条例を制定した栗山町議会を訪ねました。基本条例制定以来十九年三月まで全国から百八団体、八百八十一名の視察が訪れているそうで

すが、当日も全国からの市町村議会六団体八十七名での合同視察研修となりました。

《日本原燃株式会社視察見学》

八月二十九日(水)日本原燃株式会社再処理工場の視察見学を行いました。

六ヶ所再処理工場は、日本で初めての商業用再処理工場です。再処理工場は現在、アクティブ試験(使用済燃料を用いた試験)を実施しており、平成二十年の操業に向けて、最終的な安全機能や機器設備の性能を確認しています。

当日は、事務本館ビジュアルームでの概要説明の後、再処理工場・中央制御室、使用済燃料受入れ・貯蔵施設を案内していただきました。

《町村議会広報研修会》

九月二十七日(木)に開催された、青森県町村議会議長会主催による「町村議会広報研修会」に三常任委員長と事務局が参加しました。講師にエディター・城市創氏を迎え、①「議会だより」編集のポイント②町村議会広報のクリニックと題した講演を受講しました。

視察研修等



東通村小学校陸上競技大会



議会の動き

7月	6日	宮崎県北郷町議会政務調査来庁
	10日	森林・林業・林産業活性化議員連盟総会
	12～13日	県下町村議会議員研修
	31日	原発議長会第6回サミット第3回実行委員会
8月	2日	青森県に対する重点要望説明会
	20日	原発特別委員会
		群馬県利根郡町村会・議長会行政視察来庁
	21～23日	下北郡町村議会議長会行政視察
	24日	原子力施設監視評価会議監視委員会
	28日	議会運営委員会・議会全員協議会
	29日	日本原燃(株)再処理工場視察見学
六ヶ所村議会・横浜町議会との交流会		
30日	議会全員協議会	
9月	4日	第3回定例会招集・教育民生常任委員会
	6日	日本原燃再処理事業所公開ヒアリング
	11～12日	議会本会議
	22日	第20回全国スポーツ・レクリエーション祭開会式
	27日	議会広報研修会

編集後記

平成十九年九月第三回定例会
が四日開会され、提出議案十四
件を議決し、陳情書一件を採択
し、議員発議一件を議決し、十二
日閉会しました。

産業建設常任委員会に引き続
き、総務企画常任委員会が七月
から九月までの議会の動きをま
とめてみました。

今後も引き続き、議会の役割
として、公正で客観的な記事、地
域住民に親しまれる、読みやす
い、わかりやすい議会だよりづ
くりを努めますので、村民皆様
の暖かいご指導、ご協力をお願
い申し上げます。

今回は、教育民生常任委員会
の担当です。

行政・議会の生の声を傍聴してみませんか？

○定例会は、年4回（3月、6月、9月、12月）開かれます。

○臨時会は、必要に応じて開かれます。

お問い合わせは、議会事務局（☎27-2111 内線412・413）

